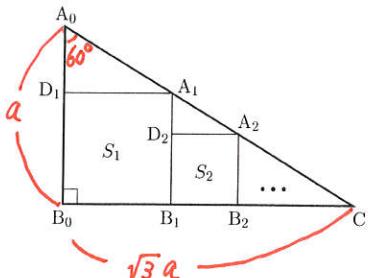


2011年工学部第1問

1枚目 / 2枚

数理
石井K

- 1 三角形 A_0B_0C は辺 A_0B_0 の長さが a , $\angle A_0 = 60^\circ$, $\angle B_0 = 90^\circ$ の直角三角形であり, 三角形 $A'_0B'_0C'$ は辺 $A'_0B'_0$ の長さが a , $\angle A'_0 = 45^\circ$, $\angle B'_0 = 90^\circ$ の直角三角形である。右図に示すように三角形 A_0B_0C の3つの边上にそれぞれ点 D_1, A_1, B_1 をとり, 正方形 $B_0D_1A_1B_1$ を作る。次に, 三角形 A_1B_1C の3つの边上に点 D_2, A_2, B_2 をとり, 正方形 $B_1D_2A_2B_2$ を作る。これを繰り返し, 正方形 $B_{j-1}D_jA_jB_j$ を作る。その正方形の面積を S_j とおく。ただし, $j = 1, 2, \dots$ である。同様な操作で, 三角形 $A'_0B'_0C'$ にも正方形 $B'_{j-1}D'_jA'_jB'_j$ を作り, その正方形の面積を S'_j とおく。これらの図形について以下の問い合わせよ。



- (1) S_1 を a を用いた式で示せ。
- (2) S_j を a と j を用いた式で示せ。
- (3) 三角形 A_0B_0C 内に正方形を描くことを無限に繰り返すとき, 正方形の面積の総和 S_T が三角形 A_0B_0C の面積 S_0 に占める割合を求めよ。
- (4) $c_j = \frac{S_{j+2}}{S'_j}$ で定義される一般項 c_j を持つ無限級数は, 収束するか発散するかを, 根拠を式で示した上で答えよ。

(1) $\triangle A_0B_0C \sim \triangle A_1B_1C$ 且 $B_0B_1 = x$ とおくと。

$$\sqrt{3}a : a = \sqrt{3}a - x : x \quad \therefore \sqrt{3}ax = \sqrt{3}a^2 - ax$$

$$\therefore x = \frac{\sqrt{3}-\sqrt{3}}{2}a, \quad S_1 = x^2 = \frac{3}{2}(2-\sqrt{3})a^2$$

(2) S_n と S_{n+1} の面積比は $S_n : S_{n+1} = a^2 : \frac{3}{2}(2-\sqrt{3})a^2 = 1 : \frac{3}{2}(2-\sqrt{3})$

$\therefore \{S_n\}$ は初項 $\frac{3}{2}(2-\sqrt{3})a^2$, 公比 $\frac{3}{2}(2-\sqrt{3})$ の等比数列

$$\therefore S_j = \underbrace{\left\{ \frac{3}{2}(2-\sqrt{3}) \right\}^j \cdot a^2}_{\text{ST}}$$

(3) 公比は $0 < \frac{3}{2}(2-\sqrt{3}) < 1$ であるから $\sum_{j=1}^{\infty} S_j = \frac{\frac{3}{2}(2-\sqrt{3})}{1 - \frac{3}{2}(2-\sqrt{3})} a^2$

$$\therefore S_T = \frac{\frac{3}{2}(2-\sqrt{3})}{3\sqrt{3}-4} a^2 = \frac{3(2\sqrt{3}-1)}{11} a^2$$

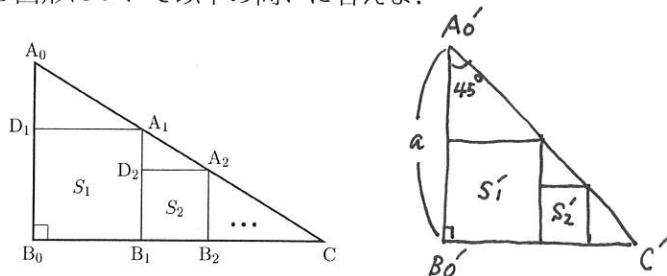
$$\therefore \frac{S_T}{S_0} = \frac{2(6-\sqrt{3})}{11}$$

2011年工学部第1問

2枚目/2枚



- 1 三角形 A_0B_0C は辺 A_0B_0 の長さが a , $\angle A_0 = 60^\circ$, $\angle B_0 = 90^\circ$ の直角三角形であり, 三角形 $A'_0B'_0C'$ は辺 $A'_0B'_0$ の長さが a , $\angle A'_0 = 45^\circ$, $\angle B'_0 = 90^\circ$ の直角三角形である。右図に示すように三角形 A_0B_0C の3つの边上にそれぞれ点 D_1, A_1, B_1 をとり, 正方形 $B_0D_1A_1B_1$ を作る。次に, 三角形 A_1B_1C の3つの边上に点 D_2, A_2, B_2 をとり, 正方形 $B_1D_2A_2B_2$ を作る。これを繰り返し, 正方形 $B_{j-1}D_jA_jB_j$ を作る。その正方形の面積を S_j とおく。ただし, $j = 1, 2, \dots$ である。同様な操作で, 三角形 $A'_0B'_0C'$ にも正方形 $B'_{j-1}D'_jA'_jB'_j$ を作り, その正方形の面積を S'_j とおく。これらの図形について以下の問い合わせよ。



- (1) S_1 を a を用いた式で示せ。
- (2) S_j を a と j を用いた式で示せ。
- (3) 三角形 A_0B_0C 内に正方形を描くことを無限に繰り返すとき, 正方形の面積の総和 S_T が三角形 A_0B_0C の面積 S_0 に占める割合を求めよ。
- (4) $c_j = \frac{S_{j+2}}{S'_j}$ で定義される一般項 c_j を持つ無限級数は, 収束するか発散するかを, 根拠を式で示した上で答えよ。

(4) (2)と同様にして, $\{S'_j\}$ は初項 $\frac{a^2}{4}$, 公比 $\frac{1}{4}$ の等比数列なので

$$S'_j = \left(\frac{1}{4}\right)^j \cdot a^2 \quad \therefore \frac{S_{j+2}}{S'_j} = \frac{\left\{\frac{3}{2}(2-\sqrt{3})\right\}^{j+2}}{\left(\frac{1}{4}\right)^j} = \left(\frac{6^3}{4} - 9\sqrt{3}\right) \cdot (12 - 6\sqrt{3})^j$$

$\therefore \left\{\frac{S_{j+2}}{S'_j}\right\}$ は初項 $\frac{6^3}{4} - 9\sqrt{3}$, 公比 $12 - 6\sqrt{3} (> 1)$ の等比数列

なので, その無限級数は発散する。